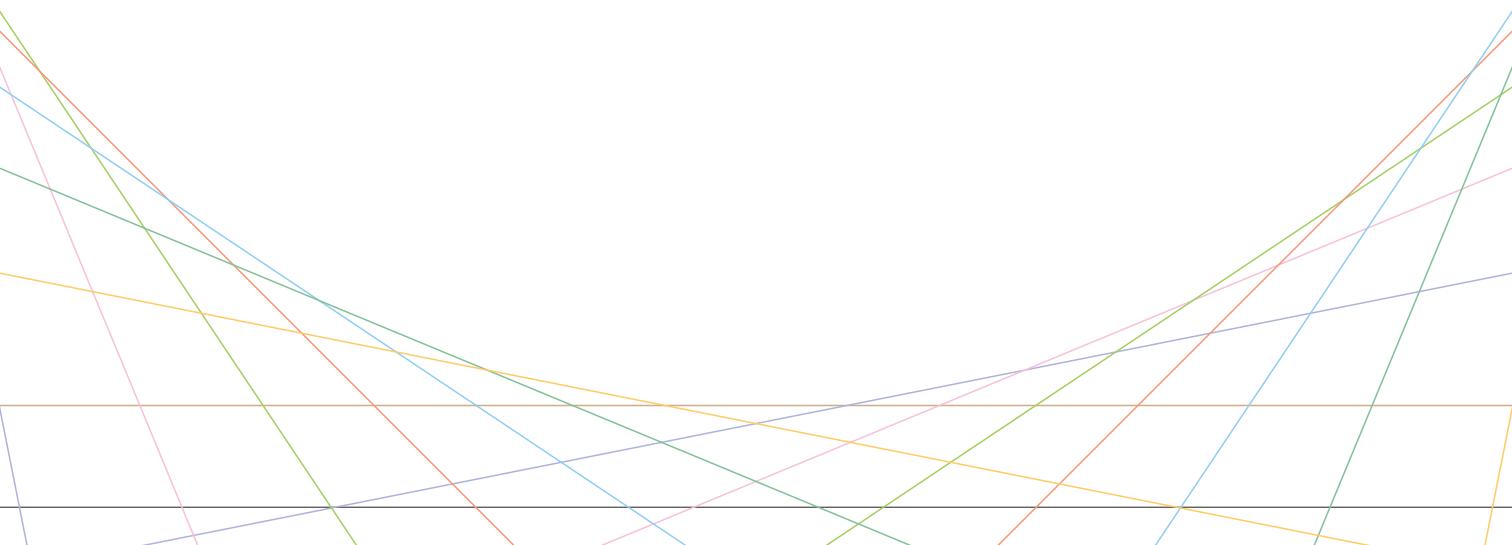


第71期 報告書

平成29年4月1日 »» 平成30年3月31日



ごあいさつ



代表取締役社長
尾崎 光行

株主の皆様には平素より格別のご支援ご高配を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当社第71期事業年度を終了いたしましたので、当連結会計年度における営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主要取引先である外食・中食業界におきましては、原材料価格の上昇や人手不足による人件費の高騰、人口減少による市場規模の縮小など引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループの当連結会計年度の売上高は、177億35百万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面では、営業利益は4億78百万円（前年同期比55.2%増）、経常利益は5億18百万円（前年同期比42.4%増）となりました。また、特別利益を2億37百万円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4億16百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復基調が続き、個人消費の持ち直しが期待されますが、海外における経済政策の不確実性や地政学的リスクの影響等により、引き続き不安定な状況となっています。

このような経営環境の中で当社グループは、業務用厨房機器業界の発展の一翼を担う企業としての自負を基本に、同業他社との差別化を図った高付加価値商品の販売推進を軸として、お客様に喜んでいただける魅力のある商品をラインナップし提供することを使命とし、市場ニーズの多様化にも柔軟に対応できる積極的な営業活動、更なるアフターサービスの充実にも努めてまいります。また、ホテル・病院・老人福祉施設等の大型物件への営業活動、顧客リストによる戦略的営業活動、出展する展示会のフォロー営業活動等により、受注機会の確保に努めてまいります。当社の行動規範の1つである「顧客の立場で考え行動し、顧客の期待以上のことをする」の精神に則り、お客様のニーズに応えることのできる営業社員を育成し、顧客サービスの向上・顧客満足度の向上・既存顧客の掘り起こし・新規顧客の開拓・利益率の向上・利益の確保を目指してまいります。日本の食文化を支え、新しい“おいしさ”の創造に貢献するため、今後ともお客様の声に真摯に耳を傾け積極的に事業を展開していく所存であります。

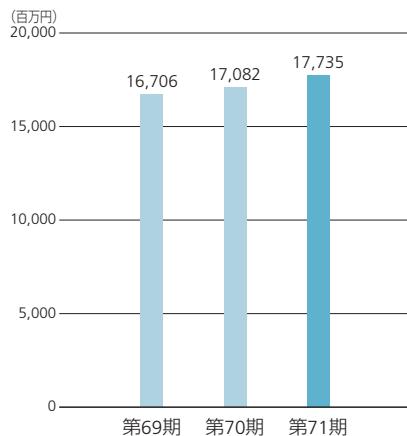
またリスク管理とコンプライアンスの強化を図り、正確かつ十分な経営情報を適時ご提供し、経営の透明性を維持してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

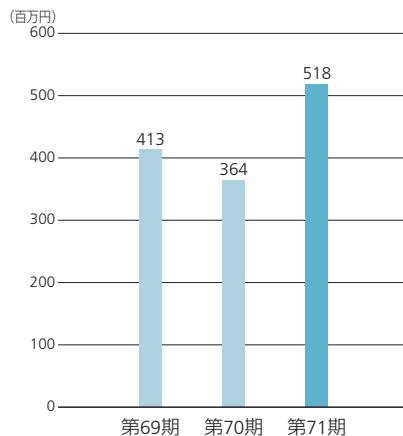
平成30年6月

▶ 連結主要財務指標

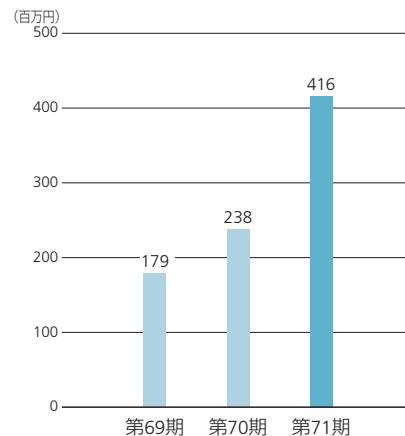
売上高



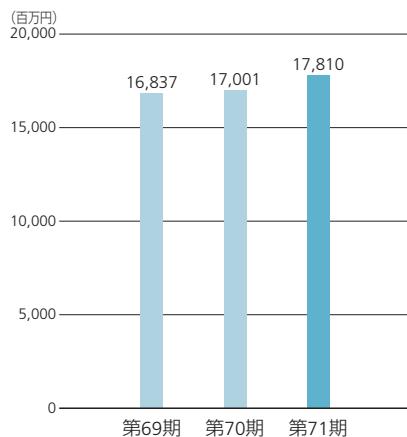
経常利益



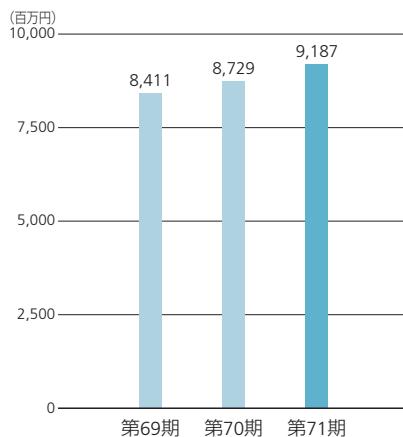
親会社株主に帰属する当期純利益



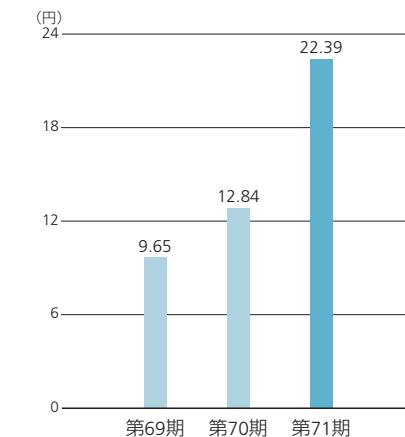
総資産



純資産



1株当たり当期純利益



プレパレーションライン

下ごしらえ用機器

シンク、作業台、食器戸棚をはじめ、野菜調理機やみじん切り専用フードカッター、ポテトの皮むき用ピーラー、肉・ハム用各種スライサー、チョッパー、洗米機など、食材の持ち味を生かす下ごしらえをしっかりとこなします。



コールドフーズライン

冷凍・冷蔵保管用機器

強力ファンと大型冷却器で急速冷却できるブラストチラーや耐久性・デザイン性に優れた冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫。高い製氷能力を実現する製氷機など、食材の鮮度を厳しく管理する冷凍・冷蔵保管用機器です。



ホットフーズライン

加熱調理用機器

省エネ・安全性・使いやすさを追求したフライヤー、ガスレンジ、ガステーブルをはじめ、スープ専用レンジや麺類をゆでるスーパーケトルや焼き物に便利なコンベクションオーブン、最新の調理方法に必要なマルチッカーなど、加熱調理に威力を発揮します。



サニタリーライン

洗浄・保管用機器

食器洗浄機をはじめ、容器洗浄機や洗浄後の食器や容器を殺菌・消毒を兼ねて収納する食器消毒保管庫（電気・ガス・蒸気の3タイプ）など、洗浄から殺菌までをトータルにカバーします。



サービスライン

客席付近のサービス用機器

レギュラーコーヒーからエスプレッソまでを一台で抽出できるコーヒーマシンや安定した品質でお茶を提供できる給茶機。用途に合わせたレイアウトが可能なユーロストックなど、機能性を最優先に考えたサービス用機器です。



ベーカースライン

製菓・製パン用機器

多種多様なスイーツメニューを一台で焼き分けるパティスリーオープンや、菓子パンからフランスパンまで、ふっくらと焼きあげるスーパーオープン。コンパクトタイプながら便利な機能満載のコンベクションオープン、バイクマスターなど製菓・製パン用機器です。



マスフーズライン

大量調理用機器

上下から炎で加熱するコンベアー方式の連続自動焼物機、すしご飯や揚げ物などを素早く常温に冷やす真空高速冷却機をはじめ、連続自動フライヤーや連続自動炊飯器、レオニーダーなど、スピーディな大量調理にぴったりの省力化機器です。



家庭用キッチン

一般住宅用キッチン機器

お客様のご要望に合わせた家庭用オーダーキッチンの設計・製作。ステンレスキッチンはもちろん、木を使ったナチュラルなキッチンなど幅広い素材とデザインに対応。また、厨房機器メーカーとしてのノウハウを詰め込んだハイカラーレンジやプロシューマーオープンなど、プロ仕様の製品を家庭用にアレンジし独自の強みを生かしたオリジナル製品も発表しています。



炭火と同様の遠赤外線効果を発揮

いぶし銀⁺
IBUSHIGIN

新型の焼き物機「いぶし銀+」は遠赤外線をわずか5秒で焼成温度まで上昇させる立ち上がりの速さが特長で、調理効率・ランニングコストに貢献します。独自の焼成システムはオプションの炭・わら・松葉・さくら等の風味をプラスして焼き上げることが可能。（※特許出願中）炭火同様の焼き上がりと風味を簡単に作ることができます。



疲労軽減！快適な作業環境で生産効率上昇

快適！
HIROUKEIGENMAT
疲労軽減マット

立ち仕事による体の負担を分散させるためにデザインされた高性能疲労軽減マット。表面を滑りにくく仕上げ、端に傾斜をつけることでつまずきを防止。耐水性・耐油性に優れ、厨房はもちろんレジカウンター内や事務所・工場など、あらゆるシーンでその効果を発揮します。



調理の幅がグッと増えます！

MULTI
COOKING
PAN ~マルチクッキングパン~

名前の通り、グリル・煮込み・ボイル・蒸す・低温調理はもちろん、圧力調理や真空調理まで幅広い調理が可能であり、スチームコンベクションオープンとの併用で作業性・生産性がさらに向上します。一台で多彩な調理ができるため調理場の省スペース化も実現します。



H CJ2018（三展合同展示会）

2018年2月20日～23日

東京ビッグサイトにて開催されました。



2018年2月20日（火）～2月23日（金）東京ビッグサイトにて開催されましたH CJ2018（第46回国際ホテル・レストラン・ショー、第39回フード・ケータリングショー、第18回厨房設備機器展）に本年も出店し、盛況のうちに終了いたしました。

開催4日間の来場者数は過去6年間の中でも最高を記録し60,000人台の大台に初めて乗り、当社へも多くの来場者で賑わいました。

圧力調理のできるマルチクッキングパンでは海老のビスク、コーヒーブースではラテアートの実演を行い、好評の疲労軽減マットやスチームコンベクションオープン、ブラストチラーなどの定番商品から参考商品まで幅広く展示と提案を行いました。数ある展示品の中でも、高性能焼き物機「いぶし銀+」の焼き鳥の実演は異彩を放っており、立ち上がりの早さや炭の香りを多くの方に実感して頂きました。



■ 連結貸借対照表

| 科目 | 当連結会計年度 (平成30年3月31日) | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 9,754,294 | 8,976,891 |
| 固定資産 | 8,055,712 | 8,025,067 |
| 有形固定資産 | 5,298,733 | 5,286,696 |
| 無形固定資産 | 77,487 | 79,072 |
| 投資その他の資産 | 2,679,491 | 2,659,297 |
| 資産合計 | 17,810,006 | 17,001,958 |

(単位：千円)

| 科目 | 当連結会計年度 (平成30年3月31日) | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 7,326,630 | 6,992,950 |
| 固定負債 | 1,295,542 | 1,279,978 |
| 負債合計 | 8,622,172 | 8,272,929 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 8,168,845 | 7,845,667 |
| 資本金 | 3,235,546 | 3,235,546 |
| 資本剰余金 | 2,965,130 | 2,965,130 |
| 利益剰余金 | 2,910,406 | 2,587,175 |
| 自己株式 | △942,238 | △942,185 |
| その他の包括利益累計額 | 1,018,988 | 883,362 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,025,019 | 891,076 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △6,031 | △7,714 |
| 純資産合計 | 9,187,833 | 8,729,029 |
| 負債純資産合計 | 17,810,006 | 17,001,958 |

POINT 1

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、97億54百万円となりました。これは主に、現金及び預金2億47百万円の減少があったものの、商品5億6百万円、受取手形及び売掛金4億99百万円の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、80億55百万円となりました。これは主に、長期預金1億円の減少があったものの、投資有価証券1億71百万円の増加によるものです。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて8億8百万円増加し、178億10百万円となりました。

POINT 2

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、73億26百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金2億73百万円、未払法人税等1億23百万円の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、12億95百万円となりました。これは主に、繰延税金負債15百万円の増加によるものです。

POINT 3

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、91億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金3億23百万円、その他有価証券評価差額金の増加額1億33百万円の増加によるものです。

■連結損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | |
|-----------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| | (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで) | 前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで) |
| 売上高 | 17,735,937 | 17,082,667 |
| 売上原価 | 13,431,804 | 12,959,141 |
| 売上総利益 | 4,304,132 | 4,123,525 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,825,207 | 3,815,035 |
| 営業利益 | 478,924 | 308,490 |
| 営業外収益 | 70,072 | 84,336 |
| 営業外費用 | 30,653 | 28,742 |
| 経常利益 | 518,342 | 364,083 |
| 特別利益 | 237,581 | 38,775 |
| 特別損失 | 19,379 | 1,052 |
| 税金等調整前当期純利益 | 736,545 | 401,807 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 294,774 | 170,811 |
| 法人税等調整額 | 25,583 | △7,740 |
| 当期純利益 | 416,187 | 238,736 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 416,187 | 238,736 |

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| | (平成28年4月1日から 平成30年3月31日まで) | 前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △279,010 | 642,072 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 124,737 | △124,850 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △93,008 | △92,955 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △247,281 | 424,266 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,326,786 | 3,902,520 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,079,505 | 4,326,786 |

POINT 4

営業活動によって使用した資金は、2億79百万円となりました。
これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額7億36百万円、仕入債務の増加額2億73百万円の収入と、たな卸資産の増加額5億65百万円、売上債権の増加額4億99百万円及び法人税の支払額1億72百万円の支出によるものです。

投資活動によって得られた資金は、1億24百万円となりました。
これは主に、投資有価証券の売却による収入2億95百万円、定期預金の払戻しによる収入1億円の収入と、有形固定資産の取得による支出2億15百万円、投資有価証券の取得による支出63百万円の支出によるものです。

財務活動によって使用した資金は、93百万円となりました。
これは主に、配当金の支払額92百万円によるものです。

■連結株主資本等変動計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------------|------------------|-------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 3,235,546 | 2,965,130 | 2,587,175 | △942,185 | 7,845,667 | 891,076 | △7,714 | 883,362 | 8,729,029 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △92,955 | | △92,955 | | | | △92,955 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 416,187 | | 416,187 | | | | 416,187 |
| 自己株式の取得 | | | | △53 | △53 | | | | △53 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | 133,943 | 1,682 | 135,625 | 135,625 |
| 当期変動額合計 | — | — | 323,231 | △53 | 323,178 | 133,943 | 1,682 | 135,625 | 458,804 |
| 当期末残高 | 3,235,546 | 2,965,130 | 2,910,406 | △942,238 | 8,168,845 | 1,025,019 | △6,031 | 1,018,988 | 9,187,833 |

会社概要 (平成30年3月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 商号 | 北沢産業株式会社 |
| 創業 | 昭和26年3月28日 |
| 本社所在地 | 〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号 電話(03)5485-5111(代表) http://www.kitazawasangyo.co.jp |
| 資本金 | 32億3,554万6,415円 |
| 従業員 | 500名(連結) |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 揚物調理機の製造ならびに販売 2. 厨房器具の製造ならびに販売および厨房設備の工事請負 3. 調理機械器具の製造ならびに販売 4. 冷凍ケース・冷蔵庫および保温ケースの製造ならびに販売 5. プロパンガスおよびその他燃料の販売 6. 生鮮および加工食品の販売 7. 油脂および洗剤の製造ならびに販売 8. 製缶および板金加工請負・左記を主体とする製品の販売 9. 不動産の賃貸 10. 科学器機の製造ならびに販売 11. レジャー用品の製造ならびに販売 12. 家具の販売 13. 内装仕上げ工事の設計、施工請負および監理 14. 前各号に附帯する一切の業務 |
| 取引銀行 | 株式会社北陸銀行 株式会社横浜銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 |

取締役および監査役 (平成30年6月28日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 尾崎光行 |
| 常務取締役 | 酒井保太郎 |
| 取締役 | 石塚洋 |
| 取締役 | 小山栄樹 |
| 取締役 | 北川正樹 |
| 取締役 | 神田浩徳 |
| 社外取締役 | 青木茂男 |
| 社外取締役 | 河上敏嗣 |
| 常勤監査役 | 杉浦英助 |
| 社外監査役 | 藤森一喜 |
| 社外監査役 | 井上晴孝 |
| 社外監査役 | 納谷全一郎 |

ネットワーク

15 支店

30 営業所

8 出張所



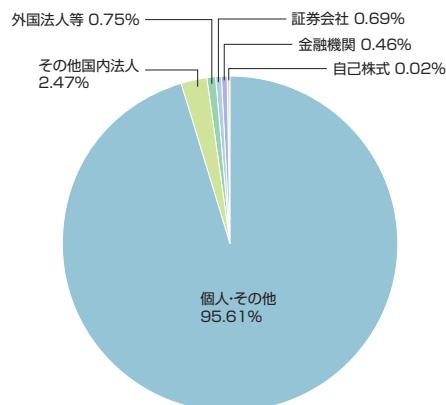
株式の状況 (平成30年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 72,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 23,818,257株 |
| 株主数 | 4,377名 |
| 大株主 | |

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-----------------------------|----------|----------|
| 北沢持株会 | 1,451 | 7.81 |
| 北沢産業従業員持株会 | 975 | 5.25 |
| 株式会社北陸銀行 | 921 | 4.95 |
| 福島工業株式会社 | 778 | 4.18 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 748 | 4.03 |
| 株式会社インテリックス | 370 | 1.99 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 318 | 1.71 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5) | 311 | 1.68 |
| 株式会社コメットカトウ | 272 | 1.47 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1) | 252 | 1.36 |

(注) 当社は、自己株式5,227,338株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主の分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
<http://www.kitazawasangyo.co.jp>

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先) 〒168-8620
お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けてしております。

ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)



<http://www.kitazawasangyo.co.jp>

北沢産業株式会社

本社 / 〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号
(03) 5485-5111 (代)

